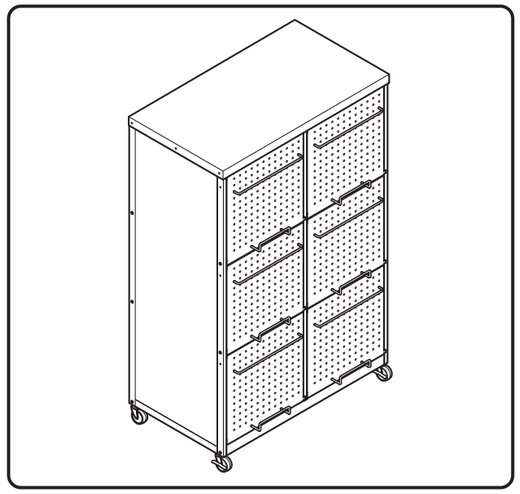
LH-60　ディスプレイラック2列3段

取扱説明書

この度は、当製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
この説明書をよくお読みになり正しくご使用ください。



警　告

●商品に乗ったり、寄りかかったり
　しないでください。
※特に、お子様には十分注意
　してください。
●直射日光の当たる場所、ストーブ等
　の火気のそばで使用しないでください。
●この商品は室内用です。
　屋外で使用しないでください。

使用上の注意

●組立ては説明書通りに組み立てて、完成後は各部のネジなどが確実に締まっていることを
　確認してください。
●必ず平らな床面に設置し、移動時以外は前側のキャスターがロックされた状態で
　使用してください。
●転倒や変形および、破損の原因になりますので、不安定な所や段差のあるところには設置
　しないでください。
●やわらかい床、畳、ジュウタンなどの上で使用しますと、転倒の危険があります。
●この商品の耐荷重は、天板10kg、棚板一枚当り5kgが目安になります。合計で40kg以上の荷重は
　掛けないでください。耐荷重以上のものを載せますと転倒、破損の恐れがありますので十分
　ご注意ください。
●天板の上には天板からはみ出るサイズのものは載せないでください。バランスを崩して転倒
　する恐れがあります。
●上段に重い物や固いものを置かないでください。落下すると危険です。
●棚に物を収納する時は、荷重が一点に集中しないように収納してください。
●移動させる時は、収納してある物を全部取り除いてから、慎重に動かしてください。
●天災等の不可抗力やお客様のお取扱い上の不注意、不当な修理、改造による事故、破損等は
　責任を負いませんのでご了承ください。

保管・点検上の注意

●使用中に、破損や変形が生じた時は、ただちに使用を中止してください。
●汚れたときは乾拭きしてください。また特にひどい汚れのときは、薄めた中性洗剤や市販の
　金属クリーナーで汚れを落とした後、乾拭きしてください。
●ベンジンやシンナーなどの薬品類は絶対に使用しないでください。
　化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

（構造部材）	スチール（粉体塗装）
（本体寸法）	約巾78×奥行46×高さ127(cm)
（生産国）	台湾

輸入・販売元	**（株）ディノス**
お問い合わせ	フリーダイアル 0120-111-555 （午前９時～午後９時）

部品リスト

●組立て前に数量をご確認下さい。

☆カートンがⒶⒷの２個に別れています。
数量欄のⒶⒷの記号はそれぞれの部品が
入っているカートンを示しています。

No.	部　品	数量
①	ボルト（短）（予備１）	Ⓑ 18
②	丸ナット（予備１）	Ⓑ 9
③	ボルト（小）	Ⓑ 6
④	ボルト（中）	Ⓑ 2
⑤	ナット	Ⓑ 24
⑥	ボルト（長）	Ⓑ 2
⑦	丸ボルト（予備１）	Ⓑ 3
⑧	キャスター（ストッパーなし）	Ⓑ 2
⑨	キャスター（ストッパー付き）	Ⓑ 2
⑩	パイプ（太）	Ⓐ 4
⑪	パイプ（細）	Ⓐ 1
⑫	左側板	Ⓑ 1
⑬	右側板	Ⓑ 1
⑭	中板	Ⓑ 1
⑮	後フレーム	Ⓐ 1
⑯	前フレーム	Ⓐ 1
⑰	ハンドル	Ⓐ 6
⑱	ホルダー	Ⓐ 6
⑲	中段用棚板	Ⓐ 4
⑳	下段用棚板	Ⓐ 2
㉑	上フレーム（ボルト用穴）	Ⓐ 2
㉒	扉（白色×3、茶色×3）	Ⓐ 6
㉓	裏板	Ⓑ 2
㉔	中板ボード	Ⓑ 1
㉕	補強フレーム	Ⓐ 1
㉖	天板	Ⓐ 1
	六角レンチ（大）	Ⓑ 1
	六角レンチ（小）	Ⓑ 1
	扉用ナット止め	Ⓑ 1

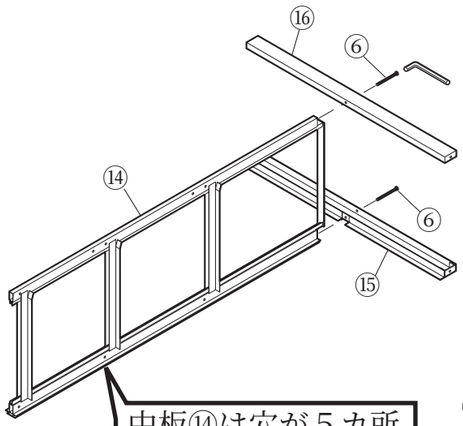
組立順序

●組立ては平らな、広さの十分ある場所で、二人で作業を行ってください。
●組立ての際、床を傷つける恐れがありますので布やカーペットの敷いてある場所で行ってください。
●各部品の接合はしっかりと行ってください。接合の仕方が不完全ですと破損や転倒の原因となり大変危険です
●手をはさまないよう充分気をつけてください。

●最初は各部のネジをゆるめに締めながら組立て、
最後に各部のネジをしっかり締めてください

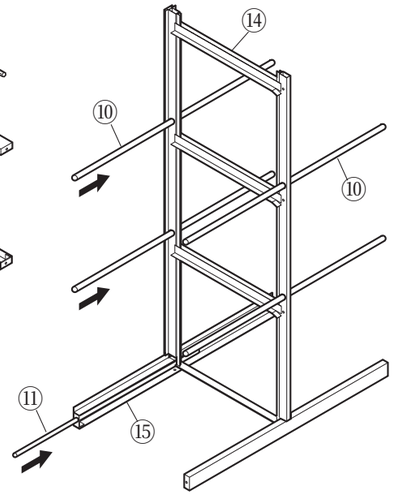
1

中板⑭を横に倒し、後フレーム⑮と前フレーム⑯をボルト（長）⑥で六角レンチ（小）を使用して固定します。
（この場合はボルトはしっかり締めてください）



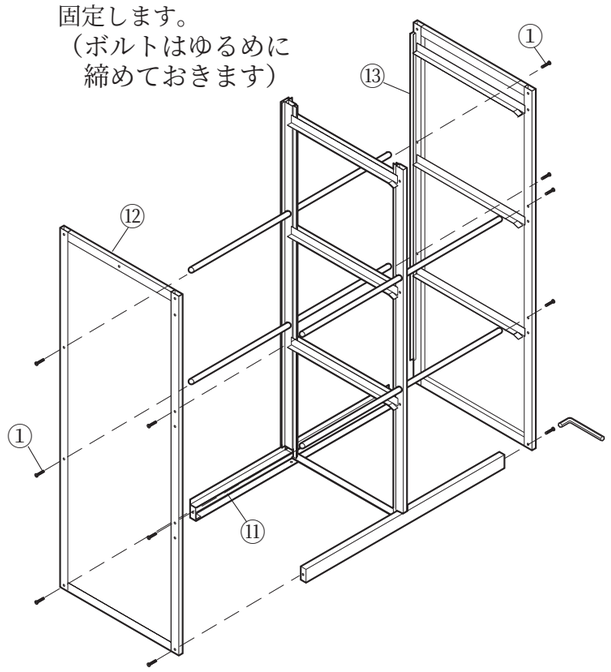
2

パイプ（太）⑩を中板⑭に下図のように通します。
パイプ（細）⑪を中板⑭と後フレーム⑮の繋げた隙間に通します。



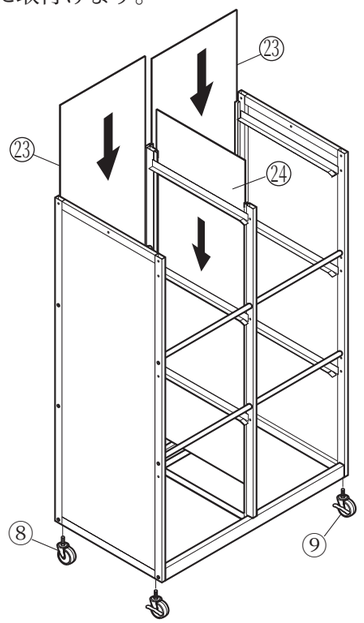
3

左側板⑫と右側板⑬の穴にパイプ（細）⑪を入れてから、左側板⑫と右側板⑬をボルト（短）①で六角レンチ（小）を使用して固定します。
（ボルトはゆるめに締めておきます）



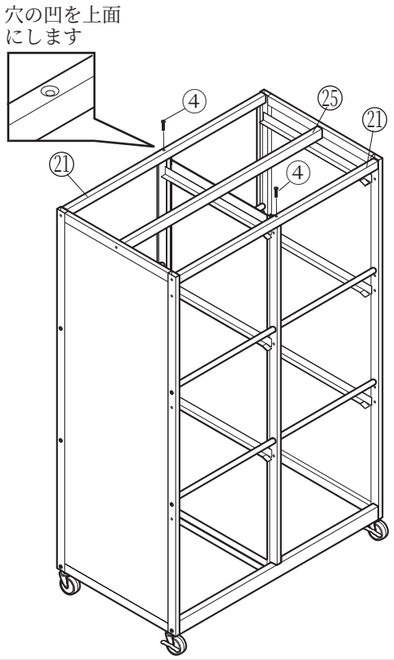
4

裏板㉓と中板ボード㉔を差し込み、本体を横にしてからキャスター（ストッパー付き）⑨を前側に、キャスター（ストッパーなし）⑧を後側に取付けます。



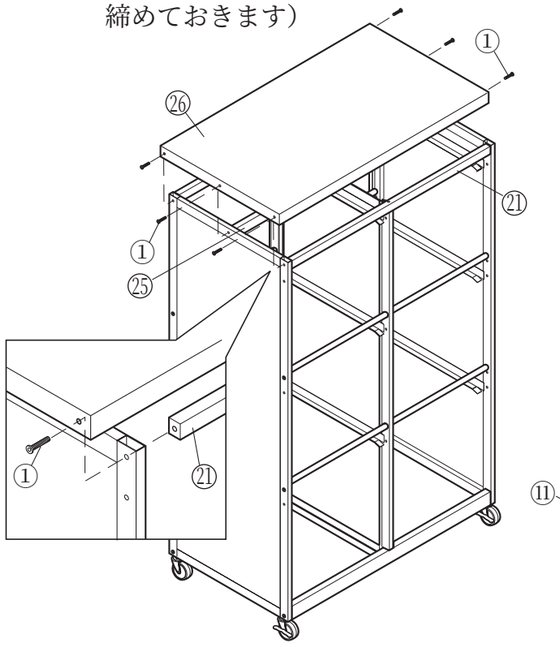
5

上フレーム㉑をボルト（中）④で固定します。補強フレーム㉕は図のように中央部に置きます。



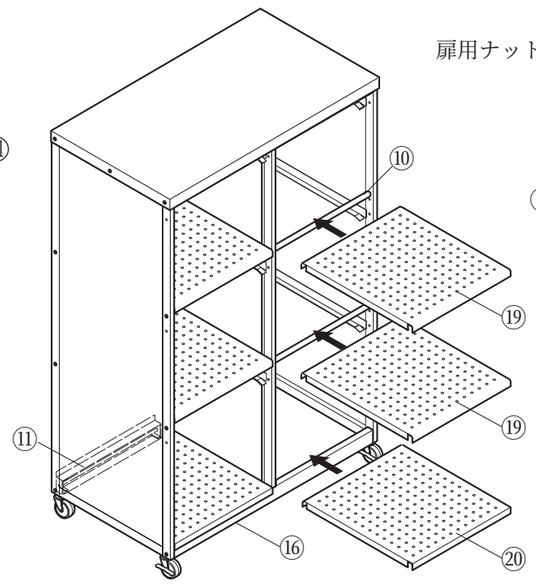
6

天板㉖を上からかぶせ、ボルト（短）①で上フレーム㉑と補強フレーム㉕を固定します。
（ボルトはゆるめに締めておきます）



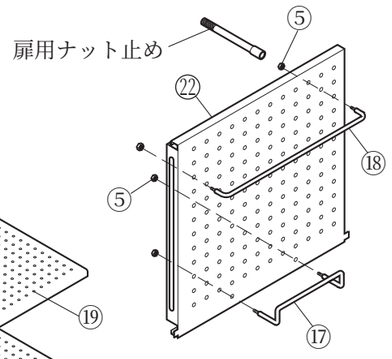
7

中段用棚板⑲を前後のパイプ（太）⑩にはめ込みます。
下段用棚板⑳は前フレーム⑯とパイプ（細）⑪にしっかりはめ込みます。



8

扉㉒にハンドル⑰とホルダー⑱を扉用ナット止めを使用してナット⑤で取付けます。
（６枚共、同様に組立てます）



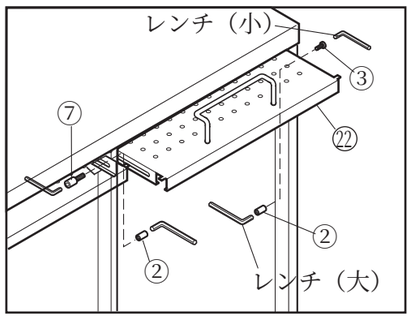
9

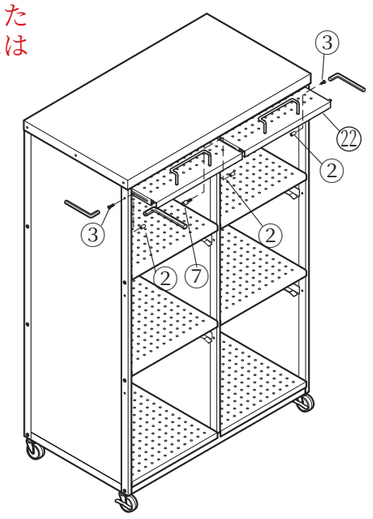
詳細図のように本体外側からは、扉㉒の側面の長穴にボルト（短）③を通し丸ナット②で六角レンチ（大）と六角レンチ（小）の両方を使用して取付けます。
中板側からは扉の側面の長穴に丸ボルト⑦を通し、丸ナット②で六角レンチ（大）と六角レンチ（小）の両方を使用して取付けます。
下側の４枚の扉も同様の方法で取付けます。

ホルダーおよびハンドルを取り付ける際、
扉が歪んだりする恐れがあります。
それによって扉の収まりが悪くなった
（扉がきちんと閉まらない）場合には

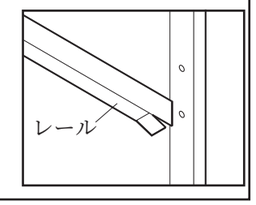
扉を手で調整すると歪みが矯正できます。

最後に全てのボルトをしっかり締め込んでください





扉の出し入れがスムーズになるように、あらかじめレールの先端は下に曲がっておりますのでお気をつけください。



組立て前に必ずお読み下さい。

組立て上の注意

①組立ての際には手や指を挟んだりしてケガをしないように充分ご注意下さい。

②組立ての前にパーツの数量を確認し、組立て説明図を見ながら順序に従って組立てて下さい。

③組立てをする際は、ある程度のスペースがあり、床に布やカーペットのあるところで商品や床、
既存の家具などに傷がつかないように充分に注意し、充分な時間をかけて組立てて下さい。

④天災などの不可抗力や、お客様のお取扱いまた組立て上の不注意による破損などは、
保証しかねますのでご了承下さい。

設置上の注意事項

①当品は必ず平らな場所に設置して下さい。

②移動･設置する際は、引きずらないように手でしっかり持って運んで下さい。
転倒や脚部の破損の危険がございます。

③万一、床を傷つける心配のある場所（木製のフローリング）にてご使用になる場合、
そのままお使いになりますと床を傷つけることがあります。その際は、市販されている家具用の傷
つけ防止ゴムパットや、フェルトパッド（ホームセンター等にて購入頂けます。）を適当な大きさに
切って、脚部の底に取付けてからのご使用をお薦めします。

④ネジはゆるまないようにしっかりと締めて、ぐらつきがないか確認してからご使用下さい。（必要以上
の力で締めると、商品を傷つける恐れがあります）。また、定期的（1ヶ月に1回程度）に点検して下さい。

⑤商品の上で飛んだり跳ねたり、暴れたりしないで下さい。

輸入･販売元

株式会社 ディノス

お問い合わせは

フリーダイヤル

0120-111-555

午前9時から午後9時まで